



◆20世紀を文化で飾る

色絵花鳥図皿  
(佐賀県立九州陶磁文化館所蔵)

●特集

500号までの軌跡



主な内容

パブリックインフォメーション…… P 2	お年寄りと子どものページ…… P 12
特集 500号までの軌跡 …… P 4	スポーツ…… P 13
みんなの広場…… P 8	くらしのチャンネル…… P 14
文化で町づくり…… P 10	お便り…… P 16



# 園芸活性化緊急対策等を追加

伊万里市議会第3回定例会が、9月5日から22日までの18日間開かれました。今回の議会では、市長提出の条例議案5件と予算議案8件、決算議案11件などあわせて29件の議案審議や議員提出議案の審議、一般市政に対する質問、意見書の審議などが行われました。

審議の結果、継続審査となった決算議案と廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例の一部改正条例を除くすべての議案が原案どおり可決されました。なお、継続審査となった決算議案は今議会設置された決算審査特別委員会で審議されることになりました。今回の議会の主な内容は次のとおりです。

## 条例議案・予算議案等

●報酬および費用弁償条例の一部を改正する条例：「同和对策審議会委員」を改称した「部落差別撤廃・人権擁護審議会委員」並びに登校拒否児童生徒対策の「適応指導教室指導員」に報酬を支給するため改正するものです。

●議会の議員その他非常勤の職員等の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例：地方公務員災害補償法等の一部改正により、条例の一部を改正するものです。

●廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例の一部を改正する条例：（継続審査）  
●中小企業振興資金貸付けに関する条例の一部を改正する条例

## 議員提出議案

●特別委員会の設置について  
企業会計決算審査特別委員会と一般会計及び特別会計決算審査特別委員会の2特別委員会を設置されました。委員会の構成は次のとおりです。（◎は委員

長◎は副委員長 敬称略）  
企業会計決算審査特別委員会  
◎岩橋紀行◎満江洋介、松尾真介、立石正孝、田中啓三、梶山和泰、金子克巳、下平美代  
一般会計及び特別会計決算審査特別委員会 ◎原口 弘◎盛泰子、栗原定和、竹内和教、中倉政義、平山康雄、志賀正昭、福田喜一

## 一般市政に対する質問

一般質問が3日間行われ、市政をめぐる諸問題について議員13人から質問がなされました。

## 委員会報告

文教厚生委員会が廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例の一部を改正する条例を継続審査に決定したことを除き、各委員会に付託された議案は原案どおり可決すべきものと決定されましたが、市長に対し次の要望等がなされました。

●文教厚生委員会①廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例の一部改正については、市民生活に直接影響があり、改定の内容等について、今後なお慎重に審査の必要があり、継続審査とする。

●産業経済委員会①国営総合農地開発事業費に関連し、事業が進捗するなかで、まだ営農が確

## 意見書・決議

議員から次の意見書が提出され、結果は次のとおりです。  
●治水・砂防事業の大幅な予算確保に関する意見書：可決  
●道路整備予算の確保に関する意見書：可決  
●公営住宅等予算確保に関する意見書：可決  
●核実験に反対し抗議する決議  
（要旨）今回強行されたフランス国の核実験は、国際世論にそむく暴挙で断じて許されない。強く抗議するとともに、今後いかなる理由があろうとも核実験が強行されないように要求する。

## 陳情書・要望書

各団体から市議会に対し次の陳情書等が提出されました。  
●新婦人会館建設について  
●精神障害者の福祉施策充実について  
●滝野地区霊泉の復活について

## 南波多小学校の校章・校歌(詩)を募集

現在の南波多小学校と波多川小学校を統合し新たに建設中の小学校は校名を南波多小学校として、来年4月に開校します。この新しい学校にふさわしい校章、校歌(詩)を募集しますので、多数ご応募ください。

- 応募資格 市内に居住する人
- 応募方法 官製はがきか封書に住所、氏名、年齢、職業を明記して、応募してください。
- 応募締切 10月31日(火)
- 応募先 ☎848 伊万里市立花台1-1-1 伊万里市教育委員会総務課
- 問合せ 市教育委員会総務課 ☎2111 内線456



●南波多小学校の完成予想図



# 燃えるゴミは持ち込めません

黒川町立目にある市の環境センターでは、家庭から出されるゴミを収集し、焼却や埋め立てなどにより処理しています。

この施設は、昭和57年から稼働を始め、13年間、市内から出たゴミを処理してきました。

ところが、長い間運転を続けてきたため、施設全体の老朽化が著しく、このまま稼働すると今後のゴミ処理に大きな支障がある恐れがあるため、全面的な改修をすることになりました。

平成7、8年度の継続事業で約5億8千万円をかけて、施設の心臓部ともいえる焼却炉や煙突、ゴミクレーンなどの全面的な改良工事を行います。工事期間は、11月6、26日と来年3月、4月の2回です。

市民の皆さんの生活安定に欠かせないゴミ処理について、たいへんご迷惑をおかけしますが、期間中は、環境センターで燃えるゴミの処理ができませんので、ご協力をお願いします。

## ゴミ分別は

## ていねいに

もちろん、工事期間中もゴミ



ゴミ出しは決められた場所に

有田などの関係市町村には大変なご協力をいただくことになる

## ゴミの減量やリサイクルにもご協力ください

燃えるゴミは今まで通りですが、燃えるゴミについては、有田地区をはじめ、武雄と唐津、松浦の各市の施設で処理をお願いしますことにしています。特に今回は本市のゴミをよその地区の処理施設で焼却処分してもらいますので、ゴミの分別も不燃物が交ざらないよう日ごろからの分別をていねいに行つて迷惑がかからないようにしてください。

## 燃えないゴミと粗大ゴミは従来通り

定期的な収集している燃えないゴミと粗大ゴミについては、工事期間中も従来通り環境センターで処理します。また、センターに直接持ち込まれていた燃えないゴミと粗大ゴミも、搬入できますのでご利用ください。

●問合せ先 市保健環境課  
(☎23) 2111 内線282

# 多くの観光客を伊万里市へ



世界・焔の博覧会コーナー②

前号では、「世界・焔の博覧会」の主な催し等についてご紹介しましたが、今回は伊万里市の博覧会への取り組みについてご紹介します。

「世界・焔の博覧会」は、全国では6番目、九州では初めてジャパンエキスポ(国が支援する博覧会)の認定を受けて開かれる今世紀最後で最大の博覧会で、その観光客数は120万人が見込まれています。

伊万里市はこの博覧会の地域サテライト会場に指定され、また博覧会の主会場となる有田会場から12キロという近距離にあるため、今回の博覧会は多くの観光客に、すぐお隣の「伊万里」をアピールする絶好の機会となります。

確かに、「伊万里」の名は、古伊万里に代表されるように焼き物ファンを中心に全国に知れ渡っています。しかし、将来にわたって伊万里市の窯業や農業、工業、商業、そして観光などがさらに発展するためには、伊万里市の対外的な地域イメージをより高めることが極めて重要に

なっています。

このような観点から、博覧会は「伊万里」のイメージを内外に高め、地域振興を図る最大のチャンスと位置づけ、博覧会観光客の誘致に積極的に乗り出すことにしました。

## 推進体制も整う

早速、今年1月18日には、博覧会伊万里会場の推進母体として、市内68団体・75人からなる「世界・焔の博覧会伊万里市推進委員会」が組織され、会長には川本市長が就任。委員には市議会議員や陶磁器組合、商工団体、農業団体、区長会、婦人団体の代表者など、まさに市をあげての推進体制が整いました。

委員会には、イベントを実施する幹事会や農産物を紹介する幹事会、宣伝を行う幹事会など専門的な部会が設けられ、現在、残り10か月と迫った本番に向けて観光客誘致のための準備が急ピッチで進められています。

※次回は伊万里市で取り組んでいる観光客誘致のための各種事業をご紹介します。



# パイプ。役

ことができました～



①昭和59年7月号から平成7年8月号までの表紙写真



①伊万里市広報第1号

## 身近で役に立つ情報紙を目指して

「広報伊万里」は、市制施行された昭和29年4月に第1号を発行しています。以来、身近で役に立つ情報紙を目指して発行を重ね、今月号で500号を迎えることとなりました。そこで今までに掲載した表紙をはじめ、「広報伊万里」の年譜や市民の声を交え、1号から500号までの軌跡を振り返ってみました。

特集

# 500号までの軌跡



①平成7年9月号の表紙

## 広報伊万里年譜

1号  
～  
125号

●昭和29年4月1日

伊万里市制施行

●昭和29年4月25日 1号

伊万里市広報を発行。B4

サイズのタブロイド版で、

タイトルは「廣報」。

●昭和29年6月10日 2号

タイトルが「広報」に変更、

毎月10日発行となる。

●昭和32年4月10日 36号

「いまり」にタイトル変更

●昭和37年6月1日 98号

毎月1日発行に変更。

●昭和37年8月1日100号

7月の大雨被害が3億6

000万円に上り、復旧工

事に全力を「がトップ記事。



126号  
～  
274号

●昭和39年10月1日126号

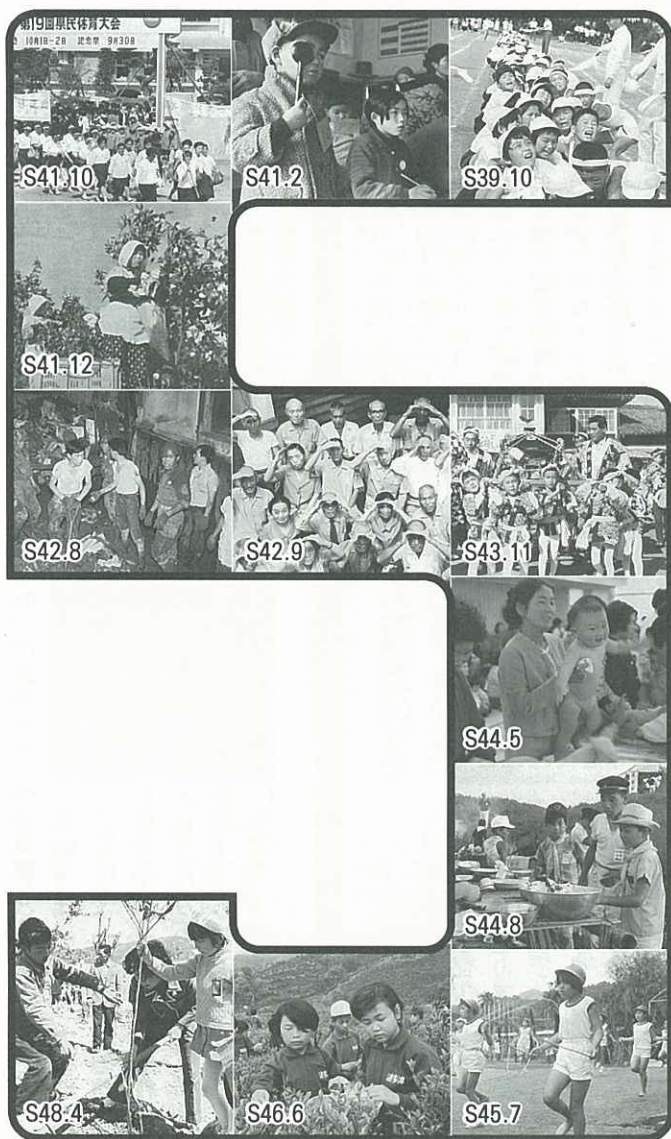
B5サイズの横書きで、表

紙に写真を使いタイトルも



# 42年目 市民と行政の

～みなさんのおかげで500号を迎える



①昭和39年10月号から昭和48年4月号までの表紙写真



②昭和48年9月号から平成28年12月号までの表紙写真



●昭和45年4月1日192号  
この号から毎月1日と15日の2回発行となる。(ただし、4月と5月に発行されただけで、6月からは再び毎月1日発行に戻る。)

●昭和45年10月1日200号  
9月の定例会議の議会報告がトップ記事で、過疎振興計画が可決されている。



「広報いまり」に変更。

●昭和44年10月1日186号

●11月1日187号

●12月1日189号

以上3号が昭和44年度の県広報コンクールで1位となり、全国広報紙コンクールでも見事入選しました。



# ズバリひと言

## 3年間、広報を担当



東山代町長 多久島俊次さん (75)

昭和37年から3年間、市の広報係長を勤めましたので、広報伊万里には特に関心があり、毎回楽しみに読んでいます。私が担当した時代は、タブロイドのB4版でしたが、今はA4サイズで、活字や写真も大きくなり、随分と見やすくなりましたね。

## 若い男性も登場させて



山代町久原3区 関本満由美さん (19)

今年の4月に市の職員に採用され、現在福祉事務所の婦人児童係に勤務していますので、仕事柄よく広報は読んでいます。ほほえ美さんは若い女性が登場しますが、若い男性も載せて欲しい。それに特産品を使った郷土料理なども紹介してください。

## 伊万里を知る大切さ



東新町 岡田政昭さん (44)

暮らしたスポーツ、文化など伊万里でのホットなニュースがわかり、毎月楽しみにしています。住みよいまちづくりのために伊万里のことをまずよく知ることが大切なことです。私たちもお年寄りや若い人に負けないようまちづくり張り切りたい。

## 焼き物の表紙が好き



二里町東八谷 岡本展代さん (32)

おとしの6月に大分から越してきました。大分では2人の子どもの世話で広報を読む機会があまりありませんでした。でも、予防接種などの保健コーナーは欠かさず見てました。こちらの広報では、お便りコーナーと伊万里焼の表紙が好きですね。

## 農業記事も載せて



南波多町谷口 井手昭仁さん (35)

先月末で豊水の出荷が終わり、梨農家の私は、一息ついたところです。広報を受け取るのが毎月17日18日ごろですので、不便とは思いますが、たまに行事が終わってから目にするのもあります。それに、もう少し農業関係の記事も載せて欲しいです。

## 広報はかたいイメージ



松浦町東分 松尾飛鳥さん (15)

市役所の仕事は中学校3年の社会科(公民)の授業で学習しますが、今ちょうど勉強中です。広報は、かたいイメージがあつて積極的に読む方ではありません。でも、自分の友達や興味のある情報が載っていたりすると、熱心に読んでいますね。

- 昭和48年1月1日227号 表紙の写真とタイトルに青色を使った2色刷りで発行。
- 昭和48年8月19日 立花台地の新市庁舎へ移転
- 昭和52年1月1日275号 表紙のデザインを一新して全ページ写真を使用開始。
- 昭和53年9月1日295号 初めて特集に取り組むことになり「老後に生きるよるこびを」の見出しで老人福祉問題を取り上げる。

275号  
470号



- 昭和54年1月1日299号 表紙の写真を初めてのカラー印刷で発行する。
- 昭和54年1月15日 お知らせや募集記事を主体にした「市役所だより」を毎月15日に発行開始する。





## 広報は遊び心で



黒川町奥野  
條島久子さん(49)

県が企画した「女性の翼」に応募し、北京のNGOフォーラムに参加してきました。地球はひとつ、21世紀は中国の時代と実感しました。市は女性をもっと海外に送りだす応援をしてもいい。広報は遊び心で4コママンガなども載せて欲しい。

## ヤングコーナー設けて



大坪町上古賀  
中島諭宇樹さん(16)

文章を書くのが好きなので、将来はライターになればとひそかに思っています。新聞はよく読んでますが、広報ははつきりいってあまり読んでいません。ヤングコーナーなどを設けてもらうと、若い人たちがもっと読むんじゃないかと思っています。

## 広報で伊万里の 発展を知ることが できます



(出身地) 二里町福母  
(家族) ご主人と二人  
(現住所) 島根県津和野町

大宅キヨ子さん(70)

広報伊万里500号発刊、おめでとうございます。月々の広報、表紙を飾る美術品の陶器は素晴らしい、全く魅了されています。最近では国際交流や各種文化活動もめざましく、更に、全国の伊万里に関わる方々からの便り等、内外の多彩な記事が網羅され、伊万里の発展の様子を知ることができ、教えられることが多々あります。ここまでにお育ていただいた方々のご苦勞に感謝し、併せて、市の益々のご繁栄とご発展をお祈り申しあげます。

## 市政を知る情報手段



波多津町煤屋  
田中勝利さん(56)

私にとって市政を知る唯一の情報手段が広報なので、見るのが楽しみです。先月号の決算など、ふだんは目にする機会が少ないので有り難いですね。お便りコーナーも面白いし、それに、自分の知り合いが載っていたりすると、興味を持って見ます。

## 市長の随想が読みたい



大坪町永山  
片岡和子さん(75)

教師生活をやめてからは、高齢者リーダーをやりながら、畑仕事や伊万里学の勉強に励んでいます。文章を書くのも好きで、広報伊万里は分かりやすく、身近に感じています。市長さんの随想なども載せてもらうと、もっと親しめると 생각합니다。

## 新しい図書館に 足を運んでみたい



(出身地) 松浦町上分  
(家族) ご主人と子ども2人  
(現住所) 千葉県市川市

中西徹子さん(36)

毎月「広報伊万里」を送っていただきありがとうございます。この度は、500号達成おめでとうございます。幼稚園の広報さえもたいへんですから、市の広報となればいわずもがな、いろいろとご苦勞もおありと思いますが、これからも号を重ねて次は、千号を目指して活躍ください。この夏帰省したお礼、新図書館に足を運べなかったことは残念で、次の機会を楽しみにとっておきたいと思っています。伊万里を離れていても伊万里っ子です。これからもよろしくお願ひします。

### ♥お祝いの手紙も届きました♥

●昭和54年2月1日300号  
南波多局の電話が自動化になり、市内の電話ダイヤル化が100番がトップ記事。



●昭和55年9月1日319号  
表紙がオレンジと黒色の2色刷りでの発行を開始。

●昭和60年5月1日375号  
全ページを緑と黒色の2色刷りでの発行に変更。

●昭和62年6月1日400号  
「おかげさまで400号」を4ページにわたり特集。



471号

●平成5年5月1日471号  
A4版の縦書きにリニューアルし表紙に焼き物を採用。  
●平成7年10月1日500号  
伊万里市誕生から42年目で、500号を発行する。



# みんなの広場

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所広報係へご連絡ください。(☎2111内線207)



## ●松浦町まちづくり討論集会で意見交換（9月3日）

『町民一人ひとりが主役のまちづくり』をテーマに、同町まちづくり協議会（副島哲三会長）の討論集会在、松浦体育館で開かれました。同町では高齢化や人口流出など地域の様々な問題を抱えながら、他方ではバイパスや松浦川親水公園構想などが動きだし、それらの事業を生かして地域を見直そうと、建設省武雄工事事務所山崎副所長などをパネラーに公開討論が行われました。住民から環境や企業誘致、医療などの問題提起がありました。

## ●船から伊万里港を見学、湾内をクルージング（8月29日）

運輸省唐津港工事事務所（松下雄市所長）主催の親子ふれあいクルージングに112人の親子が参加しました。市街地から離れている港を知ってもらい、海に親しみを持ってもらおうと開かれ、約2時間のクルージングで、違った角度から伊万里を見学しました。



## ●伊万里牛 品質の高さで九州一に輝く（8月28日）

福岡県太宰府市で開かれたJA全農主催の第19回九州管内県連和牛枝肉共励会に九州各地から120頭が出品され、見事に山代町の林司さんが金賞、南波多町の前田英治さんが銀賞を受賞しました。（受賞のトロフィーを前に喜びの二人。右が林さん、左が前田さん。）

## ●「サマーフェスタ・まつら」でバルーンの係留飛行（8月26日）

松浦町の地域おこし団体「松こっこ会」（原口邦雄会長、82人）主催の第1回サマーフェスタが松浦運動広場で行われました。当日はカラオケや花火大会のほかバザーが立ち並び、地元産の梨やアスパラガスなどの農産物も販売され、たくさんの親子づれで賑わいました。



●市内の保母さんなど5人が「一日救急隊員」（9月8日）  
市消防本部は、9月9日の「救急の日」にちなんで市内の幼稚園、保育園の保母さんなど5人を一日救急隊員に任命しました。市内に応急手当の普及を図るため行ったもので、救急車の装備や司令室の見学、マネキン人形を使った救急蘇生法の実技などを学びました。



# わが家のアルバム



川原三佳ちゃん(1歳4か月)  
★孝文・奈美子さんの長女  
★二里町作井手

お兄ちゃんたちが、未っ子のわたしを自転車で乗せて一緒に遊んでくれるの。“オイデオイデ”と“バイバイ”が上手にできるし、テレビの“おかあさんと一緒”を見て音楽が流れると踊っちゃうのよ。お魚食べるのが好きで、ごはんはあまり食べないの。だってまだお母さんのオッパイがおいしいんだもん。



女の子らしく、素直でやさしい子どもに育ててほしい。2人のお兄ちゃんとも仲良く遊んでくださいね。

# ほほえみさん



木村綾香さん(22歳)  
★東山代町長浜(魚座・B型)

名村造船所に勤めて3年目。総務部で社員1000人分の給与計算の業務を行い、億単位の金を右から左へ動かす綾香さん。ストレス解消は中学生時代から始めたバレーボールで、毎週2回練習しています。自称エースアタッカーです。ボールを思い切り打つ(ぶん殴る?)快感がたまらないそうです。

「スキーも大好きで、冬になると短大時代の友人と毎年長野へ出かけます。夢は、まだ見ぬ旦那様とスキー場で年を越したい。理想の男性はスポーツマン」と話してくれました。今は良妻を目指し料理に励んでいるそうです。

①下水道促進デーに器具を展示(9月9日~10日)  
下水道事業について理解と関心を深めてもらうため、全国下水道促進デーに合わせ市民センターで下水道相談会と器具展が行われました。下水道は、生活環境の改善・公共用水域の水質保全のための施設で、供用開始後3年以内に接続が義務づけられています。



①市のみずがめ“有田川”でイカダ大会(8月26日~27日)

二里町をなんとかしゅう会(山崎光英会長、43人)は、水に関心をもち、川を汚さないで楽しんでもらおうと、二里小前の有田川河川敷で第3回有田川カワニバルを開きました。オートキャンプや釣り、イカダ・カヌー大会などに約1,000人が訪れ、川遊びを楽しみました。



①時代の問題点をとらえた作品に審査員もビックリ(9月6日)

市統計グラフコンクールの審査会が、市役所で行われました。カラフルな作品が多く出品され、審査の結果、特選に「いじめをなくす第1歩」(伊万里小6年竹下、岩橋、力武、松崎、樋渡さん)と「育てよう新図書館」(国見中2年原、寺沢さん)の2点選ばれました。





## 「女性文化教養講座」スタート 女性の能力を発揮しよう

今回で第4回目を迎える女性文化教養講座が、9月12日、市民図書館A.Vホールを会場としてスタートしました。

女性文化教養講座は、国際化・高齢社会・文化都市づくりが叫ばれている今日に生きる女性として、積極的な学習活動を通して、資質の向上と地域社会への参加を促進するために、平成4年度から始まったものです。

今回は、女性の社会進出や積極的な学習意欲を背景として、定員80人の募集に対し130人

の女性が集まり、「女性」を考へる関心の高さがうかがわれます。

開講式では、松永恵子女性政策室長が「北京では、世界女性会議が行われています。世界的にも女性が注目されている今、持っている能力を十分に発揮し、地域社会へ積極的に参加するなど行動に移してもらいたい」とあいさつしました。

その後、第1回目の講座として西九州大学助教授の馬場佐和子先生から「アメリカ文学にみる女性像―自立を考える」と題



し講演があり、受講生は熱心にメモを取っていました。

講座は2月まで10回計画されており、9月29日にはアバンセの船橋邦子館長の講演が市民センターで行われました。

## 伊万里中学校ブラスバンド 念願の定期演奏会開く

伊万里中学校ブラスバンド部（山下裕子部長、39人）第1回定期演奏会が、9月10日に市民センターで開かれ、両親や同級生など500人を前に日ごろの練習成果を披露しました。

同校ブラスバンド部は昭和37年に創設され、今年で33年目を迎えます。今まで学校行事や各種演奏会で活動してきました。今年7月に行われた県吹奏楽コンクールで銀賞を受賞、念願の

定期演奏会に花を添えました。

演奏会は同校校歌で幕を開け、行進曲や映画音楽など親しみのある曲を聞かせてくれました。同部のOBも応援に駆けつけ、一緒に演奏し、観客からは盛んな拍手を浴びていました。

また、9月15日の敬老の日を前に、少しでもお年寄りに役立てようと募金箱を設置し、集まったお金を大坪・大川内両公民館に寄付しました。

## 郷土の文化財 郷土の史跡シリーズ⑦ 旧犬塚家住宅

江戸時代の末、伊万里津屈指の陶器商家

江戸時代の伊万里津（現在の伊万里町の川浴い）は、焼き物の積み出しで栄えていました。

旧犬塚家住宅は、伊万里町本町4丁目にあります。およそ170年前の江戸時代後期に建てられたものです。

住んでいたのは犬塚という商人です。㊦という商号を用いて、江戸や大阪、さらには東北地方

にまで焼き物売りさばき、一族から、江戸陶器蔵元（佐賀藩の焼き物販売所の東京支店長）をだすなど、伊万里津を代表する陶器商人でした。

建物の外観は火災に強い白壁土蔵造の2階建て、間口3間（5.52メートル）、奥行8間（14.72メートル）で、南北方向に細長く「うな



ぎの寝床」と呼ばれます。市内に残り少なくなった白壁土蔵造の建物として、歴史的・建築学的な価値が高く、平成3年（1991）7月に伊万里市重要有形文化財（建造物）に指定され、伊万里市陶器商家資料館として当時の陶器商人の暮らしがわかるように公開されています。



# 長寿の喜び

市内各地で敬老会行事

## いつまでもお元気で

9月15日は敬老の日

長年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者の長寿を祝い、これからも健やかな生活を送られるよう各町公民館や老人ホームなど市内16か所で、敬老会の行事が行われました。

市内において、満75歳以上の高齢者数は4756人で、昨年

より168人増加しています。  
おじいちゃん・おばあちゃんは明治、大正、昭和、平成の戦前・戦後と激動する時代に、数々の苦労を重ねてこられました。

敬老会では、おじいちゃん・おばあちゃんに祝金を贈呈し、金婚夫婦95組、95歳以上50人、米寿者148人に記念品を贈りました。その後、婦人会や保育

園児による踊りなど趣向を凝らした余興でもてなし、長寿をみんなでお祝いしました。  
おじいちゃん・おばあちゃんのお顔が絶えない1日でした。



## 第24回市老人福祉大会

# 元氣！ 歌や踊りや作品展

市と市老人クラブ連合会（原田八郎会長、6003人）主催の老人福祉大会が、8月30日に市民会館で開かれ、市内各地から1200人が集まり、歌や踊りに賑わいました。

ロビーでは趣味の作品展が開かれ、書や工芸、手芸など力作220点が展示され、訪れた人の目を楽ませてくれました。

午後からの演芸発表では、会員の歌や踊りが披露され、会場から盛んな拍手が送られました。



## 福祉体験スクール 大切にしよう 思いやりの心

市社会福祉協議会では、ボランティア活動を通して福祉の現場を体験し、ボランティアの意識を高めてもらおうと、8月22日～23日に福祉体験スク

施設で、心身に障害を持つ人へ水を飲ませるなど身の回りの世話をしながら、相手の立場にたった貴重な体験をしました。

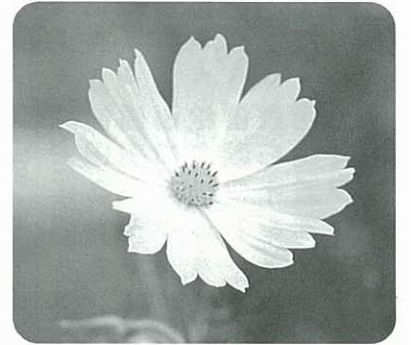
ールを開きました。  
同スクールには、市内の小・中学生47人が参加し、最初に「お年寄りや障害を持つ人へ思いやりの心を大切に」と事前研修を受けました。



西		東	
<b>慶祝 伊万里市長寿番付(平成七年九月二十日現在)</b>			
張横綱 松浦 中島エツ 九十九歳	横綱 南波多 原田シカ 百二歳	張横綱 南波多 熊山ナツ 百歳	横綱 二里 小隈エイ 百三歳
大関 南波多 井手やすヨ 九十九歳	大関 山代 宮本トシ 九十八歳	大関 山代 市原ハル 九十八歳	大関 山代 津上仁平 九十八歳
張小結 山代 出雲コト 九十七歳	張小結 山代 松本ツヨ 九十七歳	張小結 山代 小嶋イセ 九十七歳	張小結 山代 久保田キク 九十七歳
前頭 東山代 立石イシ 九十七歳	前頭 東山代 松尾兼吉 九十七歳	前頭 黒山 岩永ハル 九十七歳	前頭 黒山 長野トメ 九十七歳
同 山代 杉山ノイ 九十七歳	同 山代 杉山ノイ 九十七歳	同 松浦 藤本タメ 九十七歳	同 松浦 藤本タメ 九十七歳
同 山代 杉山ノイ 九十五歳	同 山代 杉山ノイ 九十五歳	同 山代 近藤タメ 九十五歳	同 山代 久保田タメ 九十五歳
同 山代 杉山ノイ 九十五歳	同 山代 杉山ノイ 九十五歳	同 山代 久保田タメ 九十五歳	同 山代 久保田タメ 九十五歳
同 山代 杉山ノイ 九十五歳	同 山代 杉山ノイ 九十五歳	同 山代 久保田タメ 九十五歳	同 山代 久保田タメ 九十五歳
同 山代 杉山ノイ 九十五歳	同 山代 杉山ノイ 九十五歳	同 山代 久保田タメ 九十五歳	同 山代 久保田タメ 九十五歳
同 山代 杉山ノイ 九十五歳	同 山代 杉山ノイ 九十五歳	同 山代 久保田タメ 九十五歳	同 山代 久保田タメ 九十五歳



# お年寄りと 子どもの ページ



## 二里町の小隈エイさん 市内で一番の長寿者に

「敬老の日」を間近に控えた9月4日、川本市長は、市内に住む男女それぞれの最高齢者を訪問し、記念品の羊毛布団などを贈り長寿を祝いました。

市内の最高齢者は、二里町大里の小隈エイさんで、県内でも

5番目の長寿者ということです。明治24年12月27日生まれのエイさんは、現在103歳です。平成5年の8月に骨折してからは、山代町の老人保健施設、「西光苑」に入苑してリハビリに励んでいらつしゃいます。足腰がやや弱っているの



で車イスを利用されていますが、趣味の謡曲を楽しみ、食べ物の好き嫌いがないうめ三度三度の食事を欠かしたことがなくお達者です。男性は、3年連続の原田三治郎さんで、明治29年6月18日生まれの99歳です。特別養護老人ホーム「長生園」に入園中でしたが、現在は西有田共立病院に入院し骨折の治療中です。元氣でお過ごしのようにでした。

## 四季の詩

台風の土産におきし柿の実を

食めば幼日たちかへり来る

とんとんとん鼓すお船屋の昔恋ふ

立花町 前田 富子  
船屋町 中島 不識洞



## 浦之崎保育園でおはぎ作り どれから食べようかな

浦之崎保育園(山口 長園長、39人)では、9月19日にクッキング教室を開き、あんこをたっぷり付けたおはぎを作りました。クッキング教室は、毎月一回開かれ、園児も楽しみにしている行事です。園児たちは、最初に園長先生からお彼岸のお話し

を聞き、そのあと、手をきれいに洗って挑戦しました。色とりどりの三角巾とかわいいエプロンを身に着けた園児たちは、あんこを手に取り大奮闘。ほっぺにあんこを付けながらおはぎを作り、最後はお箸を使って、じょうずに食べました。



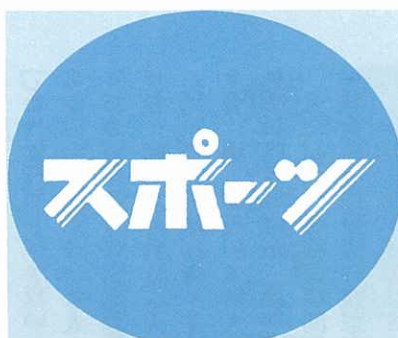
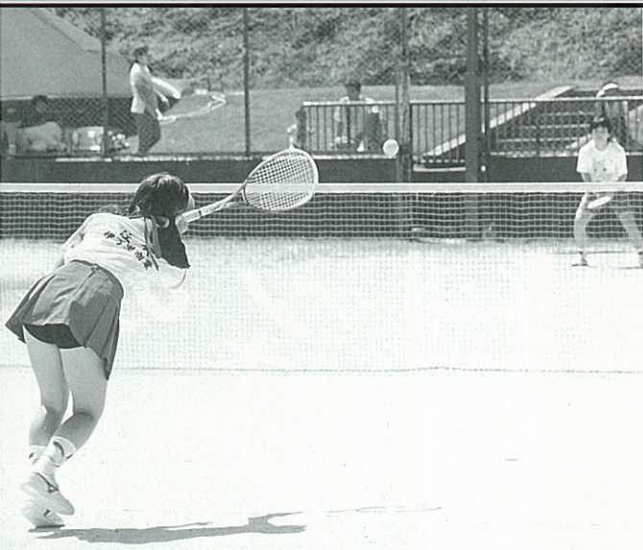
## 南波多小にネパールからお客さま 一緒に仲良くあそびました

南波多小学校(毛利東校長、206人)を、9月5日、福岡に滞在中のネパールの学生3人が訪問しました。同校の児童が書いた挿絵を使った絵本の出版をきっかけに児童たちと交流のある前原市の童話作家、田中比呂子さんのお世話で実現したも

のです。児童が昨年ネパールに学校を贈るため空き缶回収したことを文通で知っていた田中さんが、友達の家を訪れた学生を連れて来てくれました。体育館で行われた交流会では児童と学生が互いに歌を披露したりして楽しい一時を過ごしました。







全九州学童軟式野球大会(8/26)

10月の町民スポーツ

- 10日(火)
  - 国見台陸上競技カーニバル
  - 9時 国見台陸上競技場

---

- 13日(金)
  - 伊西地区中学校駅伝大会
  - 10時 国見台周辺

---

- 15日(日)
  - 市内小学校陸上運動会
  - 8時 国見台陸上競技場

---

- 19日～20日
  - 市民ゲートボール大会
  - 8時半 国見台陸上競技場ほか

---

- 22日(日)
  - 黒川町民グラウンドゴルフ大会
  - 8時半 黒川小
  - 東山代町民体育大会
  - 8時 東山代小

ご参加・ご観戦ください

## 伊万里市民体育祭

市内12町の各町対抗による市民体育祭を行います。

- 日 時 10月29日(日) 午前9時～午後3時半
- 場 所 国見台陸上競技場
- 競技内容 100m走、3000m走、小・中学生リレー、婦人リレー、ゲートボール競走、百足競走など
- 間合先 各町公民館または市教育委員会体育保健課 (☎2111 内線465)

※大会当日は、会場周辺の混雑が予想されますので車は相乗りをお願いします。

## 会長杯争奪ソフトテニス大会 吉永・力武組 3位に入賞

第4回伊万里市会長杯ソフトテニス大会が、9月15日に国見台庭球場で行われました。市内はもとより、唐津市や玄海町、長崎県松浦市などから高校生以上の79組、158人の参加により会長杯が争われました。

男子1部と女子の部はトーナメント戦で、男子2部(45歳以上)は予選リーグで勝ち上がったトーナメント戦で行われました。

- 【男子1部】**
- 優勝 中村・松本組(唐津)
  - 2位 門脇・浅野組(玄海)
  - 3位 古賀・森組(九州電力)
  - 〃 吉永・力武組(伊万里)
- 【男子2部】**
- 優勝 古川・岩田組(唐津)
  - 2位 田中・細田組(〃)
  - 3位 池田・池田組(武雄)
  - 〃 牧原・中山組(唐津)
- 【女子の部】**
- 優勝 橋本・中島組(武雄)
  - 2位 岸本・平松組(玄海)
  - 3位 吉住・山口組(松浦)
  - 〃 池田・島本組(武雄)

## 桑原杯バトミントン大会 女子 平山・山口組優勝



第4回桑原杯争奪バトミントン大会が、9月3日に国見台体育館で行われました。結果は次のとおりです。

**【男子の部】**

- ①土井(大川)・古賀(立花)組
- ②上村(弁天)・加川(南波多)組
- ③丸尾(大川)・高峯(東山代)組

**【女子の部】**

- ①平山(大川)・山口(東山代)組
- ②上村(弁天)・島本(立花)組
- ③小松(二里)・松尾(大坪)組

## 伊万里正鶴会弓道選手権 地元の梶原四段 見事4位に

伊万里正鶴会(平井 満会長 30人)主催の第13回弓道選手権大会が、9月17日に国見台弓道場で行われました。県内はもとより佐世保市や長崎市などから97人が参加しました。

競技は、28歳離れた直径36mmの的を目標けて10本の矢を放ち、当たった本数で競いました。張り詰めた緊張感が漂う中、静かな熱戦が繰り広げられました。地元伊万里市の選手では、梶原博之さんが健闘、優勝にあと1本と迫る8本の矢を的に命中させ、見事に4位となりました。



- 【男子の部】**
- ①本山 進 (佐世保市)
  - ②桑山 裕宜 (佐賀大学)
  - ③正原 孝一 (松浦市)
  - ④梶原 博之 (伊万里市)
  - ⑤永尾 一博 (山内町)
- 【女子の部】**
- ①大久保尚美 (佐世保市)
  - ②下釜 明子 (長崎市)
  - ③小森亜矢子 (長崎市)



## お知らせ

### 国民健康保険証が 新しくなりました

国民健康保険の旧保険証の有効期限が9月30日まででしたので、新しい保険証を区長さんを通じて配付しました。

保険証が届いていないご家庭は、市役所までご連絡ください。

●連絡先 市民課保険給付係  
(☎23) 2111内線222)

### 暮らしの総合相談

「役所の処理に納得いかない」「どこに相談したら良いかわからない」と悩んでいる人は相談ください。(無料・秘密厳守)

●日時 10月31日(火)  
午前10時～午後3時

●会場 市役所4階大会議室

●相談内容 道路、農地、年金、登記、税金、各種民事問題など

●問合先 佐賀行政観察事務所  
(☎0952) 2651

### 福祉介護機器展

佐賀県シルバー情報相談センターでは、福祉介護機器展を開きます。お立ち寄りください。

●日時 10月12日～13日  
午前9時半～午後4時

●会場 市民センター

●展示品 ベッド、排泄用具、入浴補助用具、歩行支援用具、車いす、その他介護用品

※健康・介護について、保健婦が相談に応じます。

●問合先 市福祉事務所  
(☎23) 2111内線254

### 消防スケッチ大会

10月10日(火)  
午前9時～12時  
(雨天時も行います)

●会場 市消防本部

●対象 市内の小学生

※画用紙は主催者で準備します。参加者全員に参加賞があります。

●問合先 市消防本部予防課  
(☎23) 4311内線53

### SAGAファッション フェスティバル

●日時 10月14日午後1時～

●会場 唐津市民会館

●内容 中国や日本のモデルによるファッションショー、ジュディ・オングさん(歌手)のファッショントークなど

●入場料 1500円(入場券は市国際交流室でも販売)

●問合先 県生活文化課  
(☎0952) 7340



●日時 11月28日(火)  
一部：午後1時半 二部：午後6時  
●会場 市民センター文化ホール  
●前売券 大人 3,500円  
小中高生 1,000円  
●前売券販売 市民センター、伊万里玉屋、しのはらレコード店で販売  
●問合先 市民センター (☎23) 3911

### ご参加ください ながよし運動会

●日時 10月22日 午前9時～  
●会場 立花小学校 運動場  
●主催 伊万里市・西松浦郡特殊教育研究会、市社会福祉協議会、手をつなぐ親の会  
●問合先 大坪小学校 草場さん  
(☎23) 6148

### 自然と薬草に 親しむ集い

身近な薬用植物の名前、見分け方、効能、使用方法などについて、自然の中で学びませんか。

●日時 10月15日(日)  
午前9時～10時受付

●集合場所 杵島郡有明町辺田 稲佐神社

●内容 薬草観察、薬草講話

●参加料 無料

※弁当、水筒はご持参ください。

●問合先 県保健環境部薬務課  
(☎0952) 7082

### 16ミリ映写機 操作技術講習会

各種研修などに使用する16ミリ映写機の操作技術認定講習会を開きます。この資格は県のフィルムを借用することができます。

また、貸し出し用液晶ビデオ映写機や図書館にある視聴覚設備



皆様のお宅に国勢調査の調査票をお届けしています。調査票には住んでいる人をれなく記入します。ご質問は、お気軽に調査員へ。

## 国勢調査

平成7年10月1日(日)  
9月下旬から調査員がお伺いしています。  
●問合先 市情報管理課  
(☎23) 2111 内線408

## ぼしゅう

### 農業集落排水事業 マンホールのデザイン

農業集落排水事業に使用するマンホールのふたのデザイン図を募集します。

●応募資格 誰でも応募可

●規格 A4判(図は円形)

●留意点

①ふたは直径60センチの円形  
②鉄製のため抽象的な図案で  
③農畜産物の特色を表したものを募集  
●応募期限 11月30日(木)  
●応募・問合先 市農村整備課  
(☎23) 2111内線382



# 10月の行事

## 市民会館 (問合先: 市民センター)

- 15日(日) 映画「トムとジェリー」  
「トイレの花子さん」 13時半 700円
- 11月4日(土) 伊万里市内小学校音楽会  
9時 無料
- 11月5日(日) いまり童謡祭 9時半 無料
- 11月10日(金) 佐賀県交通安全県民大会  
13時半 無料

## 市民センター ☎23911

- 1日(日) 環境衛生週間 ゴミゼロフェア  
11時 無料
- 7日(土) 映画会「蒼い記憶」 19時 700円
- 12日(木) 市老連婦人部 講演会 10時 対象者
- 14日(土) 秋風とともににほんのうたをうたうコンサート 18時半 大人1000円 学生500円
- 28日(土) 伊万里看護学校 伊看祭 ボラントピア基金チャリティーコンサート 19時 無料
- 11月5日(日) 岡部耕大作 異聞・源平盛衰記  
舞台劇「風と牙」 18時半 一般2000円 学生1000円
- 11月12日(日) 健康いきいき講演会  
講師 岸部シロー氏 11時 無料

## 市民図書館 ☎234646

- 1日(日) 子ども映画「ジャングル大帝」 14時 無料
- 6日(金) 一般映画「激突」 18時 無料
- 8日(日) 子ども映画「母をたずねて三千里」  
14時 無料
- 12日(木) 一般映画「秋刀魚の味」 14時 無料
- 15日(日) 子ども映画「ロビン・フッド」 14時 無料
- 20日(金) 一般映画「スターウォーズ」 18時 無料
- 22日(日) 子ども映画「どうぶつ宝島」 14時 無料
- ※毎週土曜日 おはなし会 14時半 無料

# 10月の市民相談

会場: 市民相談室  
時間: 10時~15時

無料・秘密厳守です。☎232111 (内線226)

- 法律 (木) 5. 19
- 社会保険 (金) 6. 13. 20. 27
- 交通事故 (火) 17. 24
- 行政 (水) 18
- 人権 (火) 3. 17
- 身障者 (月) 23
- 青少年 (木) 26
- 消費生活 (月) 2. 9. 16. 23. 30
- 女性職業 (水) 4. 11. 18. 25
- 心配ごと (木) 5. 12. 19. 26

※住宅相談は、5日と19日の午後1時から4時まで市役所市民ロビーで行います。

## カルチャー入門講座

- 講座名 茶道入門
- 対象 市内と近郊の人 20人
- 会場 市民センター
- 開講日時 11月~1月の毎週
- 火曜日 午後6時~8時まで
- 受講料 4500円
- 申込期限 10月20日(火)
- (定員になりしだい締切り)
- 申込・問合先 市民センター  
(☎23911)

## 初級中国語教室

- 中国の言葉や文化を学ぶ初級中国語教室を開きます。
- 日時 11月7日~4月30日  
毎週火曜日午後2時半~4時  
夜コース 11月1日~4月24日

## 高齢者リーダー

- 毎週水曜日午後6時半~8時
- 会場 市民センター教室室
- 対象 高校生以上の市民および市内に勤務している人
- 募集人員 各30人(先着順)
- 受講料 月額1000円
- (教材費は別途個人負担)
- 講師 潘 勁帆さん
- 申込期限 10月27日(金)
- 申込・問合先 市国際交流室  
(☎232111内線496)

## 青年海外協力隊員

- 将棋、絵画、手芸など) ②スポーツ・健康(葉草、食生活、テニスなど) ③一般教養(郷土史、文学、自然観察など)
- 募集期限 10月31日(火)
- 申込・問合先 市福祉事務所高齢社会対策室  
(☎232111内線261)
- 応募資格 20~39歳の人
- 募集期間 10月15日~11月30日
- 選考試験 筆記試験と面接
- 派遣期間 原則として2年間
- 派遣職種 農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツ
- 募集説明会 佐賀会場は10月27日と11月13日、武雄会場は10月30日 午後6時半~9時

## トントン将棋大会

- 問合先 県国際交流課  
(☎09527004)
- 期日 10月22日(日)
- 会場 伊万里公民館
- 対象 小学生以上
- 参加料 一般 2000円  
小中高生 1000円
- 申込・問合先 日本将棋連盟  
梶山さん(☎238088)まで

## 北九州職業能力開発短期大学校

- 学科・定員 生産技術科、産業機械科、建築科、産業デザイン科、電子技術科、情報処理科、情報技術科 各20人
- 応募資格 高等学校卒業または来春卒業見込みの人

## 水道技術者 配管技能者 資格試験

- 試験日 11月22日(水)
- 推薦入試 11月22日(水)
- 一般入試 2月6日(火)
- 願書受付 11月1日~10日
- 推薦入試 11月1日~10日
- 一般入試 1月10日~23日
- 問合先 北九州職業能力開発短期大学校学務課  
(☎093196310125)
- 市では、給水装置工事の設計・施工監督を行う技術者および配管技能者の資格試験を行います。
- 期日 11月11日(土)
- 申込期限 10月31日(火)
- ※技術者は受験資格要件あり
- 申込・問合先 市水道部管理課(☎235400)





## 同級生

劇作家 岡部 耕 大さん(50歳)

(川崎市多摩区東生田1の12の7)

故郷・伊万里から遠く離れた都会などで仕事に頑張っている伊万里市出身者がおられます。また、「伊万里」という語感が好きで、これを店名にされているお店も数多くあります。このコーナーでは、「伊万里」と縁が深いみなさんからの便りをご紹介します。

近頃は、頻繁に伊高の同級生が集うようになった。五十歳になったのである。東京でも、ぼくの芝居をよく観に来てくれるし、伊万里に帰れば強引に同級会をやってもらおう。昨年の夏は、ぼくの芝居「精霊流し」の伊万里公演を同級生が主催してくれて大盛況だった。正直、同級生が誇らしく嬉しかった。いまでも東京の演劇人には自慢の種である。「伊万里の俺の同級生はな」といった調子である。

同級生の一人が、伊高で教鞭を取りながら野球部の監督をやっている岡本



和宏である。ぼくの演劇のなかでも、好きな作品のひとつに「風の墓」がある。昭和三十年代の肥前を舞台にアメリカンポップスが流れるなかで、戦争の傷を抱いたお遍路さんと、意気の高い高校生との交流の話である。副題を「肥前高校剣道部物語」としているが、モデルはわが伊万里駅裏の、ボロの旧校舍、われらが誇る伊高であった。その「風の墓」を、どうしても伊万里の人に観てもらいたくて、伊高の演劇鑑賞にお願いしたことがある。もう、七年前の話である。ぼくと、ぼくの劇団は勇んで伊万里へ降り立った。

ホテルでミーティングをしていると、校長先生がすっ飛んでみえた。「鑑賞会を中止してくれ」とおっしゃるのである。「えっ」であったが、なんとわが伊高野球部が地区予選を勝ち抜いて、準決勝までいっているというのである。「すぐそこに甲子園」だというのである。前代未聞の申し入れに腰を抜

かしたが、監督が岡本和宏だと聞いて、黙って退いた。彼は高校時代から野球の虫だった。その彼の悲願が達成されようとしているのである。熱いものがあつた。彼が懸命に生きていることが伝わった。それでよかった。帰路はさすがに寂しかったが、劇団員も文句はいわなかった。後日、岡本和宏は「風の墓」を伊万里へ呼んでくれた。「すまなかった」といつてくれた。同級生とはいいものである。「高校野球は甲子園だけがすべてではない。敗北の味を知ることにも意味がある」そんなことを彼に喋ったが、彼ははにかんで黙っていた。ぼくは、岡本野球に甲子園は期待していない。むしろ、彼の「一夢一徹」のこだわりが生徒に伝わるどこそが大切だと考える。



伊高の同級会に女優の三林京子さんも特別参加

## 今月の表紙

色絵花鳥図皿(17世紀末〜18世紀前半 口径21・9センチ)  
中国では明時代以降、花鳥をモチーフにした作品が多く造られます。この皿も中国の作品を手本にしたもので、寄り添う瑞鳥と花木を鮮やかなコバルトブルーや黄、赤、青の巧みな配色と丁寧な筆遣いで描いています。外周には花と鳥を交互に描きつなげています。このような文様意匠は少ないものです。中国陶磁のかわかりを知ることができる古伊万里の優品です。

## 編集室から

みなさんのお陰で「広報伊万里」が今月で500号を迎えることになりました。伊万里市誕生から42年目、毎月休むことなく発行してきたので当然といえば当然なのですが、今回の500号を機会に改めてバックナンバーを読み返してみました。126号までは新聞の半分サイズでまだ紙の質も悪く、まるで古文書でも見ているようでした。しかし、全号を通して市民の皆さんに愛される広報紙を目指し奮闘した先輩たちの姿が目につかび、先輩に恥じない広報紙を発行したいと決意を新たにしました。(H)

## 人のうごき

平成7年9月1日現在  
●人口 60,155人 (+ 17)  
男 28,444人 (+ 17)  
女 31,711人 (± 0)  
●世帯 18,202世帯(± 0)  
( )は前月比

広報 伊万里 1995-10

発行日/平成7年10月1日  
発行編集/伊万里市役所秘書課広報係  
☎(0955) 23-2111  
〒848 佐賀県伊万里市立花台1-1-1  
印刷/山口印刷株式会社

## 風と牙 伊万里公演

11月5日(日) 市民センター